

ITマスタープラン

2025年度 ▶ 2027年度
2026年度アップデート

株式会社日本取引所グループ

2026/4/28



ITマスタープランは、日本取引所グループのITに係る方向性や戦略を社内外に明確に発信し、中期経営計画達成のため経営とITが一体となってビジネスを推進していくことを目的として策定している。

本ITマスタープランの位置づけ・重点テーマ

本ITマスタープランの位置づけ・重点テーマ

Target 2030に向けた第2ステージとして、JPXのビジネス・プラットフォームの更なる発展と利用の拡大に注力する期間とし、以下の重点施策への取組みを推進する。

変化への適応

グローバルな
総合金融・情報
プラットフォームへ

総合プラットフォーム化
へ邁進する

着実な推進が
求められる領域

デジタルイノベーション
を共創する

変化にいち早く
対応する領域

主要ビジネス
への成長

IT組織基盤の強化・
全体最適化

重点テーマ
1 信頼性とレジリエンスの
更なる追及

重点テーマ
2 多様な
市場ニーズへの対応

重点テーマ
3 テクノロジーによる
ビジネス価値創出

第Iステージ
中計2024

第IIステージ
中計2027
ビジネス・プラットフォームの強化

長期ビジョン
Target 2030

本ITマスタープランにおける重点テーマ

重点テーマ1

信頼性と
レジリエンスの
更なる追及

- 着実かつ持続可能なシステム更改の推進
- 安定的・高レジリエンスな維持運用の継続と更なる向上
- サイバーセキュリティ態勢の継続的な改善/強化

重点テーマ2

多様な市場
ニーズへの対応

- 既存ビジネスの継続的な利便性向上
- 内製開発人材・クラウド活用人材の育成・強化
- サービスレベルに応じた運用サービス提供

重点テーマ3

テクノロジーに
よるビジネス
価値創出

- 顧客の潜在ニーズを発掘するプラットフォームの展開・拡張
- データサービスの多様化・次世代化
- AI等の先端技術を活用した業務効率化・新たな価値創造の推進・サポート

IT組織基盤の強化・全体最適化

開発・運用態勢

システム運営に係る基本方針

インフラ・データガバナンス

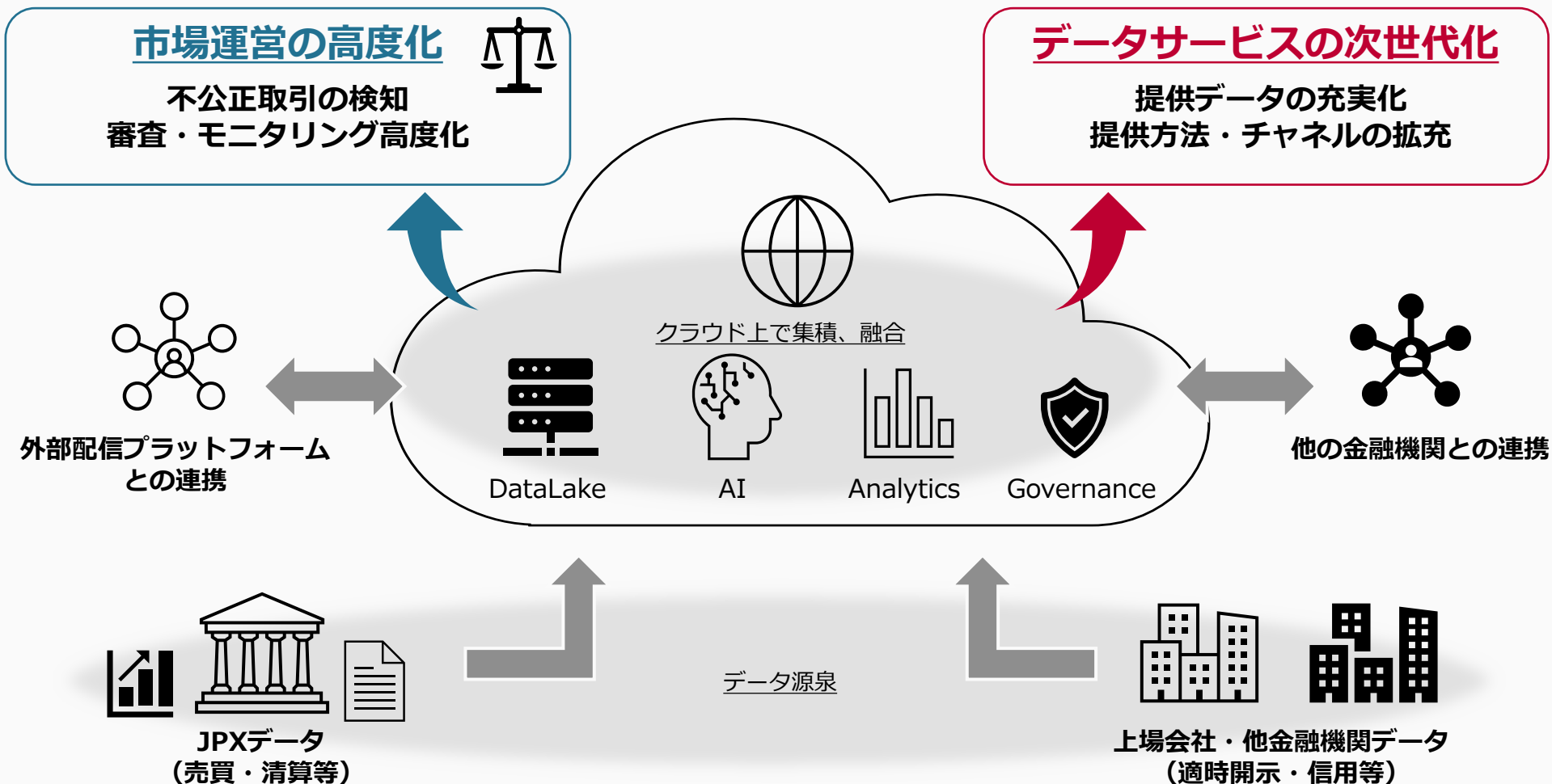
システム・データ配置に係る
基本方針

人的資本・財務資本

システム運営に係る人的・財務
資本の基本方針

AI×データ利活用に係る基本方針

- 多様なデータを高度に融合し 市場運営の高度化 と データサービスの次世代化 を実現
- 他のプラットフォームとの連携により、創出した価値をより広範に展開



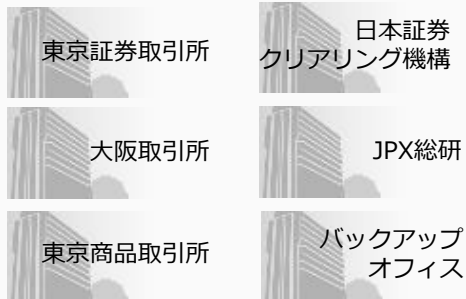
JPXシステムの概要



セカンダリセンタ -関西-

売買系システム

清算系システム



AP
4

AP
3

AP
2

arrownet

プライマリセンタ

売買系システム

清算系システム

その他システム

セカンダリセンタ -関東近郊-

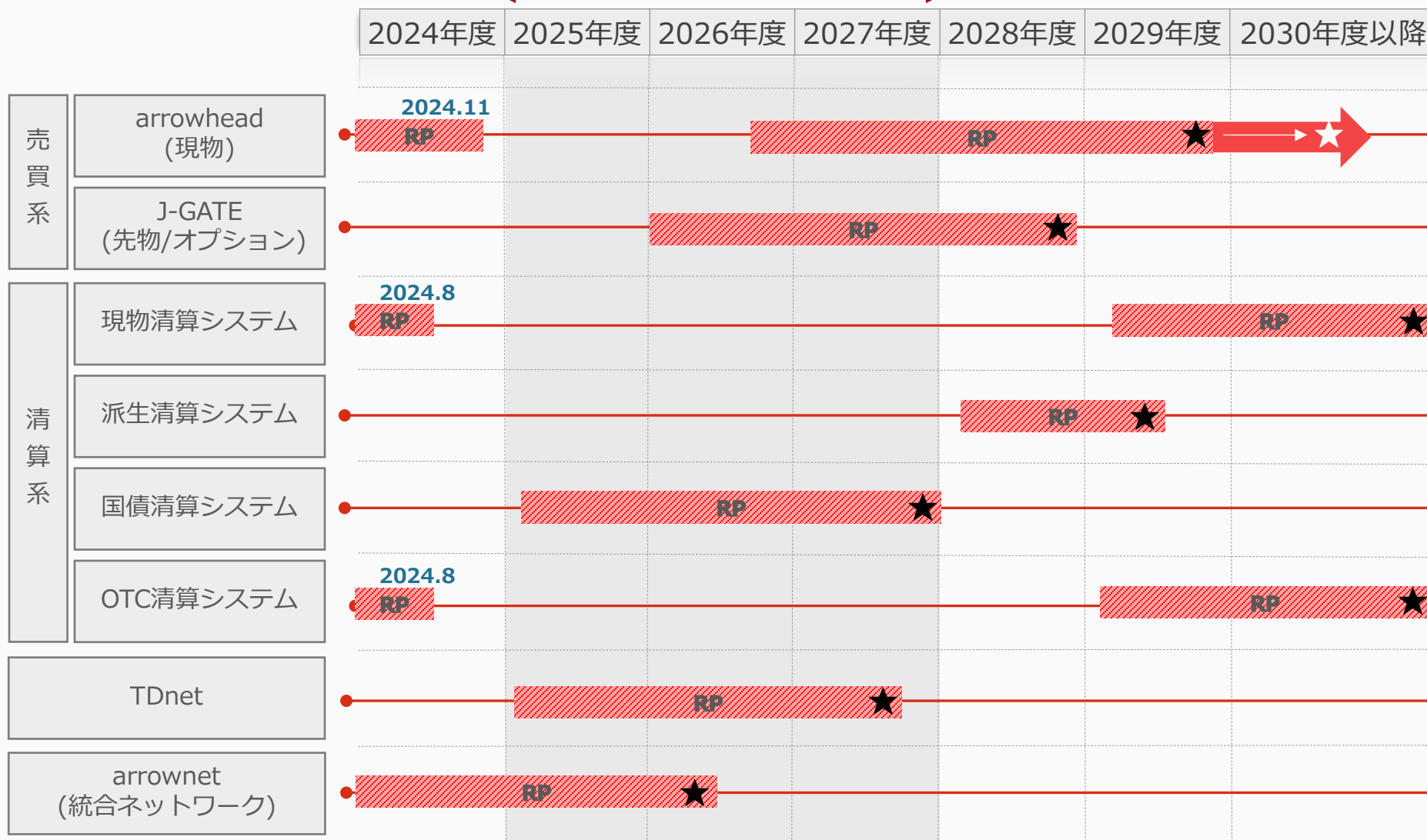
その他システム

パブリッククラウド

その他システム (一部)

※ arrownet3.0の稼働に伴い、ネットワーク構成が変更となる予定

本ITマスタープラン



本資料は、株式会社日本取引所グループ（以下「当社」という。）に関する情報提供のみを目的とするものであり、国内外を問わず証券の募集や勧誘を目的とするものではありません。当社証券は1933年米国証券法に従って登録がなされたものでも、また今後登録がなされるものでもなく、1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことは許されません。

本資料には、将来に関する記述が含まれております。こうした記述は、本資料作成時点における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、かかる記述及び仮定は将来実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。また、事業戦略など、将来の見通しに関する事項はその時点での当社の認識を反映しており、一定のリスクや不確実性が含まれております。そのため、将来の見通しと実際の結果は必ずしも一致するものではありません。当社は、これらの将来の見通しに関する事項を常に改定する訳ではなく、またその責任も有しません。